

平安の貴族

何故藤原氏は摂政・関白になることを望んだか。これについては、天皇が担当する政務の内容に答えがある。藤原氏は、摂政・関白として天皇のもつ人事権を掌握し、高位の官職を身内で固めていった。人事権によって、経済的基盤は高位の官職の収入で強化され、また、中・下級貴族は肩身の狭い思いをさせられた。

○ 摂関政治

● 天皇の政務

天皇の政務は、次の3つである。

① 報告・陳情への対応決裁

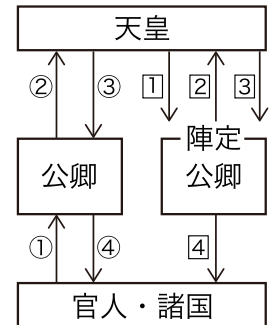
…諸国からの報告・陳情への対応は、公卿（大臣・納言の総称）の会議で決め、それを天皇が決裁

② 重要課題（外交・財政など）の提議と決裁

…天皇が公卿に課題への意見を出させる会議 **陣定**（じんのさだめ）をひらき、意見を参考に決裁

③ 人事の決裁

…叙位（じょい）（位階を授けること）と除目（じょく）（官職に任じること）の決裁



○…官人・諸国からの政務報告
□…外交・財政・人事などの重要課題
図1 天皇の政務
*番号は案件処理の順

● 北家台頭の背景

(1) _____ …母方の親戚

(2) _____ … (1) のうち、祖父にあたる人物



北家の者は娘を天皇に嫁がせ、生まれた子（次代の天皇）に対する発言力を得た。

◇外孫（がいそん）… (2) から見て、外戚関係で結ばれた孫

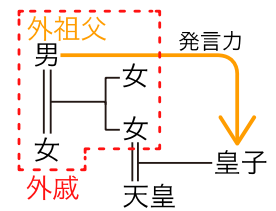


図2 外戚と外祖父

● 摂政と関白

(3) _____ …幼少の天皇に代わり、天皇の政務を執行する担当役

(4) _____ …成人した天皇の補佐役で、実質 (3) と同じ



北家の者は天皇の外戚として、**氏長者**（うじのちやうじゃ）や (3) (4) の地位を獲得した。

→天皇の政務の代行、特に人事権の掌握（上記③）は絶大な効果をもった。

⇒摂関家は高位の官職を独占し、その高収入を経済的基盤にした。

◇氏長者…氏族のなかで位階第一の者が就任、氏族を管理・統率

◇摂関家…北家のなかでも、特に (3) (4) を出す家柄



図3 藤原道長

● 摂関家に取り入る者

人事権を掌握した摂関家に、良い官職を得ようと取り入る者が続出した。

⇒中・下級貴族は、官職のなかでも経済的に有利な国司になりたかった。



私財を出して儀式や寺社造営を引き受け、代わりに官職を得る⁽⁵⁾ _____ や、

収入の多い官職に再任される⁽⁶⁾ _____ が盛んになった。



図4 国司の服装

○平安の貴族社会

●衣食住

<服装>

- (7) _____ …貴族男性の正装で、簡略化した日常着が^{のうし}直衣
- (8) _____ …女性の正装で、^{じゅうにひとえ}十二単と俗称
- (9) _____ …一般男性や武士の服装



図5 束帯



図6 女房装束



図7 水干

<食事>

日に2回の食事、仏教の影響もあって獣肉を避けた。

◇室町時代以降、日に3回の食事が一般化

<住宅>

- (10) _____ …貴族住宅に用いられた、^{しらぎづくり}白木造・^{ひわだぶき}檜皮葺など日本風の建築様式

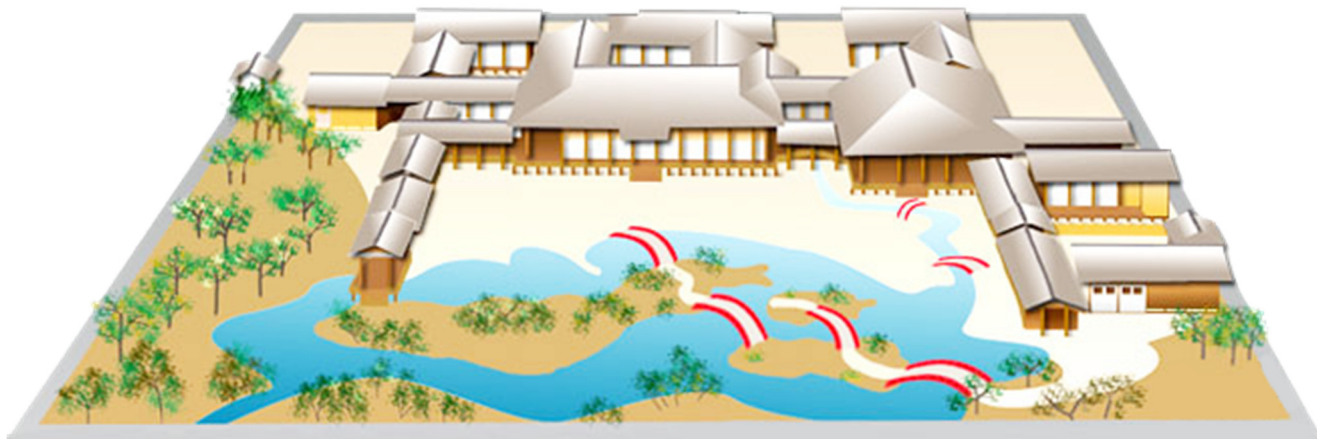


図8 寝殿造

●慣習

- (11) _____ …10～15歳の間におこなわれる男性の成人式
- (12) _____ …10～15歳の間におこなわれる女性の成人式
- (13) _____ …変わったことが起こると、吉凶を占い、一定期間特定の建物で謹慎すること
- (14) _____ …忌むべき方角をさけるため、他の方角で一泊してから目的地に向かうこと
- ^{ねんじゅう}年中行事…毎年同じ時期にひられる神事・遊興（花見や七夕）・人事異動の総称